

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
1	子育て世帯支援商品券支給事業	学校休校による食費の増加、感染症対策需用費の増加等に伴う子育て世帯への家計支援及び村内事業者への支援策として、高校生以下を扶養する保護者に、高校生以下の子ども1人当たり1万円の商工会商品券を配付した。	・商工会商品券交付 1万円×高校生以下1,140名=11,400千円 うち 11,237千円が村内商店で使用(換金率98.6%)。 ・事務費 165千円	11,564,834	8,149,834	3,415,000	R2.5.1	R2.6.1	・コロナ禍の子育て世帯への家計支援、商工会商品券の使用による村内商店の売上増につながった。
2	ひとり親世帯支援事業	経済的に不安定で学校休校による食費の増加、感染症対策需用費の増加等の影響をより強く受けている、高校生以下の子どもを扶養するひとり親世帯の保護者及び障害児(20歳未満)を扶養する保護者(特別児童扶養手当受給世帯)への家計支援として、対象となる子ども1人当たり2万円を支給した。	・給付額 20千円×対象児童134名=2,680千円	2,680,000	2,680,000		R2.5.22	R2.9.4	・コロナ禍で学校休校による食費の増加、感染症対策費の増加等の影響をより強く受けるひとり親世帯、障害時扶養世帯への支援につながった。
3	大学生等応援事業	緊急事態宣言を受けた移動自粛要請により、帰省が困難で生活が不安定になっている管外修学中の村出身大学生等を経済的に支援するため、大学生等1人当たり1万円を給付した(村内実家に一時帰省している大学生等も対象)。	・給付額 10千円×対象大学生 116名=1,160千円	1,160,000	1,160,000		R2.5.22	R2.9.11	・緊急事態宣言により帰省が困難で生活が不安定になっている村出身大学生への経済的支援が図られた。
4	事業継続支援金	感染症対策による営業自粛等の影響を受け、売上が激減している村内事業者を支援するため、前年同月比または前決算年度比で20%以上売上が減少した事業者(農業者は認定農業者及び認定農業者に準ずる者のみ)に対し、法人20万円、個人10万円を給付した。	・対象事業者131者への支援金 計17,800千円	17,800,000	17,800,000		R2.5.25	R3.3.26	・新型コロナにより売上が激減している事業者への支援が図られ、事業継続につながった。
5	飲食店支援緊急クーポン券配布事業	営業自粛要請を受けた休業等により売上が激減している村内飲食店の支援のため、村内飲食店で使用できるクーポン券を発行し、村民1人当たり1,000円分(500円券を2枚)ずつ配付した(利用可能期間R2.5.1~R2.5.31)。また、新たにテイクアウトへの取組みを行う飲食店に対し、一店舗当たり5万円を給付し支援した。	・村内飲食店でのクーポン券使用額 500円×12,232枚=6,116千円 ・参加店補助成 50千円×13者=650千円 ・印刷・郵送費 696千円	7,462,440	5,539,440	1,923,000	R2.4.1	R2.6.19	・クーポン券の配布により、令和2年5月の1か月という短期間に村内飲食店で6,116千円が利用されたことで、新型コロナにより利用客が減少した飲食店の消費を喚起し、支援することができた。
6	飲食店応援プレミアム食事券の販売事業	営業自粛要請を受けた休業等により売上が激減している村内飲食店に対し、収束後の村民の消費行動を誘発するため、村内飲食店で使えるプレミアム食事券(販売額1万円、利用可能額15,000円、プレミアム分5,000円)を販売した(1,500セット限定、1世帯で1セット購入可能、利用可能期間 R2.6.8~R2.12.7)。	・村内飲食店での使用額 1,000円×21,433枚=21,433千円 ・印刷・郵送費 639千円 [食事券売上 10千円×1,442枚=14,420千円]	22,072,746	5,341,746	16,731,000	R2.5.1	R3.1.22	・令和2年6月~12月の半年間に村内飲食店等で21,433千円が消費され、コロナ禍で利用客が減少した飲食店等の消費を喚起し、支援することができた。
7	感染防止資材購入支援事業	村内事業者(商工会員限定)が従業員・顧客等の感染予防のためにマスク、消毒用アルコール、仕切りビニールなどの資材を整備する場合に、費用の1/2(上限10万円)を助成した。	・補助額 3,828千円	3,827,800	3,827,800		R2.6.1	R3.3.31	・事業者の感染予防資材の導入に要する経費の支援を通じ、事業所・店舗における感染拡大防止、事業者の経営支援につながった。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
10	商工制度資金拡充	コロナ禍の下、事業者の資金繰り支援のため村商工業振興資金融資制度において「不況対策資金」メニューを拡充するほか、「特別不況対策資金」メニューを創設し、信用保証料補給を行った。	・信用保証料補給(6事業者) 1,767千円	1,767,137	1,767,137		R2.4.1	R2.11.20	・制度資金のメニュー拡大により、コロナ禍の影響を強く受ける事業者の資金繰りの支援につながった。
11	家庭学習環境整備事業	中学校の臨時休業等の期間中、生徒に切れ目ない学習環境を提供するため、遠隔授業のために必要なソフト(Zoom)を小中学校3校に整備した。	・Zoomライセンス(3校分) 99千円	99,000	99,000		R2.12.1	R3.2.25	・学校休業期間中でも、遠隔授業が可能な環境が整備された。
12	中学校臨時登校生徒への給食提供事業	中学校の臨時休校期間中、午前中に分散登校を行っている生徒に提供する給食費用(保護者負担分)を、村で負担した(期間:R2.5.18~R2.5.22)。	・対象期間の給食食材費用(4社) 114千円	113,951	113,951		R2.5.18	R2.6.10	・分散登校中の保護者の給食費の負担軽減が図られた。
13	学校休業による行事延期に伴う経費支援事業	新型コロナウイルスによる移動自粛要請に伴う小中学校の臨海学校・修学旅行の延期により発生する旅行会社への企画料(キャンセル料)を、保護者負担でなく村で負担した。	キャンセル料 ・中学校 修学旅行 251千円 ・南小学校 修学旅行 50千円 ・南小学校 臨海学習 33千円	334,450	334,450		R2.6.19	R2.9.25	・平時には発生しないキャンセル料を村で負担することで保護者の経済的負担の軽減が図られた。
15	乳幼児用フェイスガード整備事業	マスク着用が困難な乳幼児の保護者に対し、村でフェイスガードを購入し無償で配布した。	・フェイスガード 120個購入 132千円	132,000	132,000		R2.5.20	R2.6.1	・希望者への配布によりマスクの着用が困難な乳幼児の感染拡大防止につながった。
16	集会施設安全・安心確保事業	3密を防ぐ目的で出席者の間隔を広くとって会議を実施するために集会施設の音響設備を整備する地区に対し、整備費用を全額助成した。	・河野区民会館 1,110千円 ・田村区民会館 682千円	1,792,000	1,792,000		R2.5.25	R2.8.21	・地区の集会施設における感染拡大防止につながった。
17	役場庁舎安全安心確保事業	不特定多数の村民が来庁する役場庁舎の感染拡大防止のため、アクリル板の設置、体温測定装置の購入、庁舎工事(換気のため庁舎高所窓への網戸設置、トイレ手洗い自動水酸化・照明センサー化、換気に耐える高性能な空調設備への更新)を行った。	・庁舎カウンター用アクリル板設置 996千円 ・体温測定用サーモグラフィーの購入(6台) 1,461千円 ・換気のため庁舎高所窓への網戸設置・トイレ手洗い自動水酸化・照明センサー化 5,018千円 ・空調設備更新 39,600千円	47,074,720	41,082,268	5,992,452	R2.4.24	R3.5.14	・不特定多数の村民が来庁する役場庁舎における感染拡大防止につながった。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
18	避難所用衛生資材整備事業	避難所における感染拡大を防ぐため、非接触型体温計・マスク・消毒液、また飛沫感染を防ぐための間仕切り・マット等の資材を整備した。	感染防止資材等購入 ・マスク15,000枚 709千円 ・非接触型体温計59個 708千円 ・自動手指消毒器 12千円 ・室内用テント・間仕切り・マット 1,199千円 ・手袋・防護服等 73千円	2,700,666	2,700,666		R2.5.22	R2.11.24	・災害発生時の避難所における感染拡大防止のための体制が整備された。
19	保健センター安全安心確保事業	乳幼児健診や成人健診の会場、子育て支援センターとして多くの村民に利用される保健センターの3密を防ぐため、空調設備を、換気を行うことに耐える十分な能力を有するエアコンに更新した。	・空調設備更新 22,000千円	22,000,000	22,000,000		R2.10.30	R3.3.31	・健診等に利用される保健センターの感染拡大防止につながった。
20	夜間安全外出のためのLED街路灯整備事業	コロナ禍における住民の健康づくり支援のため、3密を回避しながら夜間にウォーキング・ジョギングが安全にできる環境を整備するよう、幹線道路の歩道の街路灯について現在の暗い水銀灯から照度の高いLED灯への更新工事を行った。	・LED街路灯整備工事 26,158千円	26,158,000	26,158,000		R2.6.22	R3.7.30	・街路灯のLED化により、健康づくりのため安全に夜間にウォーキングできる環境が整った。
21	送迎用マイクロバス輸送能力増強事業	村ではマイクロバスを5台保有し、住民の研修・視察、小中学校・保育園児の校外・園外学習や部活・スポーツ大会の送迎等に利用している。、コロナ禍の下では車内の3密を防ぐため、バス乗車率を定員の1/2程度にしなければならないことからバスの増車が必要であり、マイクロバスを1台追加購入した。	・マイクロバス購入(1台) 9,098千円	9,098,000	9,098,000		R2.10.30	R3.2.26	・マイクロバス増車により乗車率を定員の半分程度にすることができ、感染拡大防止が図られた。
22	避難所用備蓄食料等整備事業	高齢者、要介護者、障がい者、妊婦等の災害弱者は、災害時に各々の居住地区内の指定避難所に避難するのではなく、感染症予防の見地から、災害時要援護施設に指定した村内福祉施設へ分散避難させる方針である。この福祉施設の敷地内に、福祉資材・非常用食料を備蓄するための倉庫を別事業(起債事業)にて新築したが、この倉庫に保管する備蓄食料・飲料水等を購入した。	・備蓄食料購入 3,019千円	3,019,075	3,019,075		R2.9.1	R2.12.9	・災害時要援護施設に指定された村内福祉施設へ備蓄食料が確保され、感染症防止のために分散避難が可能な体制が整備された。
23	タクシー事業者支援事業	村内に事業所のあるタクシー事業者は、高齢者対象の福祉タクシー事業を村から受託しているほか、移動困難者・要配慮者のための特殊車両を4台保有するなど高い公共性をもっている。しかし、緊急事態宣言解除後もタクシー利用需要は激減したままであり、経営に大きな影響が生じていることから、経営支援のため支援金を交付した。	・タクシー事業者(1社)への支援金 500千円	500,000	500,000		R2.9.29	R2.10.9	・公共交通機関が少ない村内になくなくてはならないタクシー事業者の事業継続が図られた。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
25	福祉施設安全安心確保事業	浴槽や大研修室を備え、不特定多数の村民が利用する福祉施設(介護予防拠点施設はつらつ、勤労者福祉センター、憩の家)における感染拡大防止のため、トイレ手洗い蛇口の自動水洗化、トイレ照明の人感センサーライト化、換気のための窓への網戸設置工事を実施した。	改修工事 ・介護予防拠点施設はつらつ 2,002千円 ・勤労者福祉センター 1,408千円 ・憩の家 2,259千円	5,669,400	5,669,400		R2.10.6	R2.12.3	・不特定多数の村民が利用する府福祉施設における感染拡大防止につながった。
26	感染者等の要介護者及び子ども一時預かり施設整備事業	介護者等が新型コロナウイルスに感染または濃厚接触者となった場合に、他に介護・養育者がいない状況におかれた要介護者や子どもを一時的に保護し、ヘルパーやボランティアのサポートが受けられる施設を、村所有の旧法務局建物(A=139㎡)を改修して整備した。	・旧法務局改修工事 6,494千円	6,494,290	6,494,290		R3.1.14	R3.3.31	・新型コロナ感染により、介護者・養育者の支援を受けられない要介護者や子どもを一時的に保護する施設が整備された。
27	健康学習会用音響設備整備事業	保健師・栄養士が村内各地区に出向いて健康学習会を実施する際、3密回避のため参加者同士のソーシャル・ディスタンスをとった状態で行う必要があることから、拡声器等のついた持ち運び可能な音響設備を購入した。	・ポータブルワイヤレスアンプ購入 118千円	118,140	118,140		R2.10.16	R2.10.16	・各地区で実施する健康学習会における感染拡大防止につながった。
28	飯伊地区包括医療協議会新型コロナウイルス感染症対策支援金	コロナ禍の下、地域医療を守るため定住自立圏形成協定に基づく次の取組みを支援するため、これらを担う飯伊地区包括医療協議会に対し、管内14市町村合同で支援金を拠出した。 ・在宅当番医制・歯科・調剤当番制及び病院群輪番制に対する支援 ・休日夜間急患診療所の運営に対する支援	・飯伊地区包括医療協議会負担金 1,486千円	1,486,000	1,486,000		R2.11.4	R2.11.20	・コロナ禍で患者が減少し経営状況が悪化した医療機関が多い中、夜間・休日の地域医療の体制が維持された。
29	商品券配布事業	コロナの影響から収入が減少している村内家庭の家計支援及び売上が減少している村内商業の支援策として、村民1人当たり5,000円分の商工会商品券(千円券×5枚)を全村民に配布した(商工会事業として実施し、村は要した費用の100%を補助。郵送のみ村で実施)。(商品券の使用期間: R2.9.1～R3.2.28)	・商工会補助 34,158千円 (内訳)商品券換金 32,719千円 事務費 359千円 換金手数料 1,080千円 ・商品券郵送 592千円	34,749,735	24,579,735	10,170,000	R2.8.1	R3.3.31	・商品券の配布により、R2年9月～R3年2月の6か月間に村内商店で34,158千円が利用され、新型コロナにより利用客が減少した村内商業の消費を喚起し、支援することができた。
30	コロナ対策リフォーム助成金	コロナ禍による経済低迷・可処分所得の減少から、村内の建築・建設業者の仕事量が減少しているため、村民が村内の登録業者に住宅等のリフォームを依頼した際に工事費用の2割(上限20万円)の商工会商品券を交付することで、村内の建築・建設産業の工事需要を喚起した。	・助成用商品券購入 13,816千円 ・チラシ・ポスター印刷 127千円 ・商工会補助(商品券印刷) 171千円	14,113,842	14,113,842		R2.5.8	R3.3.31	・村内建築・建設業者への需要喚起につながったほか、商品券が村内商店で利用されることで村内商業の活性化につながった。
31	コロナ対策店舗等リフォーム事業	村内事業者が、客や従業員同士の3密を避ける対策等、新しい生活様式を実践するための店舗、事務所、工場等の対策工事(機械設備の改修を含む)を実施した場合に、要した費用の3割(上限50万円)を補助した。	・補助金交付(6者) 1,414千円	1,414,000	1,414,000		R2.10.23	R3.3.26	・感染防止及び新しい生活様式を実践するための対策工事費用の支援を通じ、事業所内の感染拡大防止、事業者の経営支援につながった。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源			
32	受注機会確保対策事業	当村の製造業者(約10社)は、都市部で行われる製造業向けの展示会に積極的に出展し多くの新規顧客を獲得していたが、コロナ禍でこれら展示会の多くが中止になった結果、出展機会が失われ貴重な受注機会が失われている。そこで、withコロナの状況下で盛んになったWebを活用した展示会への出展により受注機会の確保を図る事業者に対し、出展料の助成を行った。	・Web展示会等の出展に要した経費の補助 1,234千円	1,234,243	1,234,243		R2.4.1	R3.3.26	・村内製造業者のWeb展示会等への出店を支援することで、受注機会の増加につながった。
33	肉牛産業応援プロジェクト	肉牛価格の低迷により肉牛肥育農家の収入が減少する中、村とJAがタイアップし、村内の肉牛肥育農家から牛を昨年並みの価格で買い入れ、精肉加工し、村民を中心とした消費者に通常より安価に販売することで、村内肉牛肥育農家の経営の安定を図った。	・道の駅への牛肉加工・販売委託 2,018千円 ・チラシ印刷 66千円	2,083,784	2,083,784		R2.7.23	R2.11.17	・コロナ禍で牛肉の販売が低迷する中、良質な牛肉を生産する村内畜産農家の支援が図られ、事業継続につながった。
34	観光鳥瞰図設置事業	3密にならない「新しい旅行スタイル」の定着を見据え、滞在型観光に適した当村の魅力を都市部住民にPRするため、当村の特徴である天竜川によって形成された典型的な河岸段丘の地形や段丘からの素晴らしい景観、特産の農産物、観光施設等が視覚的にイメージできる観光鳥瞰図を作成し、Web上(村観光ホームページ等)で公開したほか、道の駅への設置用に3m×2mのサイズで観光鳥瞰図を作製した。	・観光鳥瞰図作製委託 990千円	990,000	990,000		R2.11.9	R2.12.25	・withコロナ、afterコロナを見据えた村内観光の誘客体制が整備された。
35	観光パンフレット多言語化アプリ掲載事業	withコロナ、afterコロナにおいて、インバウンド観光需要の増加が見込まれることから、村観光パンフレットをスマートフォンやパソコンで閲覧可能な多言語化アプリ(9カ国語対応)に掲載した。	・観光パンフレット多言語化アプリ掲載 990千円	990,000	990,000		R3.2.1	R3.3.31	・withコロナ、afterコロナを見据え、インバウンドに対応した村内観光の誘客体制が整備された。
36	観光客受入用折りたたみテーブル整備事業	道の駅は桃狩り、りんごの木オーナー等の観光体験農業の受付会場となっているが、観光バスによる来場もあり一時に多くの方が集中する。3密を防ぐためにソーシャル・ディスタンスを確保する必要があることから、持ち運び可能な折りたたみ用テーブルを購入し、テーブルを増やした状態に対応するようにした。	・折りたたみテーブル購入 203千円	203,060	203,060		R2.9.1	R2.9.30	・道の駅における観光客同士の3密を防ぎ、感染防止が図られた。
37	野田平キャンプ場誘客施設整備事業	3密にならないレジャーとして、アウトドア観光の需要が高まっているため、村営の野田平キャンプ場のトイレの洋式化工事、コインシャワー新設工事を実施し、設備の充実を図った。	・トイレ洋式化工事 1,378千円 ・シャワー室設置工事 2,398千円	3,775,552	3,775,552		R3.1.10	R3.3.30	・コロナ禍で3密を避けられるアウトドア観光が盛んになっている中、設備の充実によりキャンプ場の今後の利用客増加につながる。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証	
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源				
38	観光拠点施設付帯施設建設事業	withコロナ、afterコロナにおいて、3密を回避できることから需要拡大が予測されているサイクル・ツーリズムについて、別事業でその拠点施設を建設中であるが、当該施設の利用者が建物内で密になることを防ぐため、外で過ごせるスペースとして、駐車場屋根付通路、附帯施設及び誘導看板等を追加で整備した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計監理委託 990千円</li> <li>案内標識工事 302千円</li> <li>駐車場屋根付通路工事 8,844千円</li> <li>附帯施設工事 6,379千円</li> </ul>	16,514,510	13,353,000		3,161,510	R2.10.10	R3.3.31	・サイクルツーリズムの拠点施設における感染拡大を防ぐことができた。
39	公立学校情報機器整備費補助金(単独分)	新型コロナウイルスによる学校の臨時休業等緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を実現するため、小中学校の児童生徒用パソコン端末機(1人1台)及びネットワーク環境等を整備した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット240台(豊丘南小分) 13,728千円</li> <li>タブレット90台(豊丘北小分) 5,148千円</li> <li>タブレット70台(豊丘中学分) 4,004千円</li> </ul>	4,880,000	4,880,000			R2.10.27	R3.2.25	・小中学校において、児童生徒1人当たり1台タブレット端末が整備され、ICTを活用した学習環境が整えられた。
40	公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金	GIGAスクール構想の実現に必要な校内の高速ネットワーク環境を整備した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内LAN工事等(豊丘南小分) 3,049千円</li> <li>校内LAN工事等(豊丘北小分) 1,792千円</li> <li>校内LAN工事等(豊丘中学分) 3,079千円</li> </ul>	7,920,000	3,921,000	3,999,000		R2.10.29	R3.3.1	・小中学校におけるICTを活用した教育に必要な校内の高速ネットワーク環境が整備された。
41	GIGAスクール構想加速・強化事業	GIGAスクール構想の加速・強化のため、小中学校に電子黒板及び電子黒板と連携できる機能を有するノートパソコン(2in1PC)を導入し、ICT・教育双方の知見を有するICT教育支援員の助言を得ながら、ICTを活用した新たな時代に相応しい学習スタイルの導入・確立を図った。なお、中学校は電子黒板のみ導入し、既存ノートパソコンとの連携システムを構築した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板3台購入(豊丘南小分) 2,508千円</li> <li>電子黒板2台購入(豊丘北小分) 1,672千円</li> <li>電子黒板2台購入(豊丘中学分) 1,672千円</li> <li>ノートパソコン31台購入(豊丘南小分) 11,800千円</li> <li>ノートパソコン21台購入(豊丘北小分) 8,000千円</li> </ul>	25,652,000	25,652,000			R2.4.1	R3.2.25	・小中学校において電子黒板及びノートパソコンが整備され、ICTを活用した新たな時代にふさわしい学習スタイルの導入・確立が図られた。
43	小中学校教室等の換気対策事業	小中学校の感染拡大防止のため教室等の窓を開けて換気を行う際、虫等が侵入しないよう教室等に網戸を設置した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>網戸新設工事(豊丘南小分) 3,630千円</li> <li>網戸新設工事(豊丘北小分) 1,232千円</li> <li>網戸新設工事(豊丘中学分) 2,739千円</li> </ul>	7,601,000	7,601,000			R2.12.25	R3.3.10	・小中学校において、虫等の侵入を気にせずに教室の窓を開け、換気が行える環境が整備された。
44	校外学習3密対策助成事業	小中学校の校外学習(修学旅行・社会見学等)のバス移動の際、3密を避けるためバスの乗車率を低くして運行しなければならず、そのため、従来より貸切バスの台数を増やしたり、中型バスを大型バスに変更する必要があるが、そのことによる費用増加分について、保護者負担が増加しないよう公費で補助を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊丘南小5年社会見学バス代補助 160千円</li> <li>豊丘南小4年社会見学バス代補助 145千円</li> <li>豊丘南小6年社会見学バス代補助 284千円</li> </ul>	588,760	588,760			R2.10.9	R2.12.18	・新型コロナウイルスに起因する学校行事に係る経費増加を公費で補填することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
45	税・料金のキャッシュレス決済システム導入事業	キャッシュレス決済は現金に触れないため衛生的であり、税・料金納付の際の納税者と職員との接触機会を減らせるため感染防止につながることから、キャッシュレス決済を導入した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャッシュレス決済 コンビニ等収納事務委託 110千円</li> <li>キャッシュレス決済 導入支援業務委託 7,480千円</li> <li>地方税等クレジット収納業務委託 1,155千円</li> <li>水道料金クレジット収納業務委託 438千円</li> </ul>	9,182,800	9,182,800			R2.12.1	R3.3.31	・キャッシュレス決済の導入により、税・料金納付の際の感染防止につながるとともに納税者の利便性が高まった。

事業No.	事業名	事業概要	事業実績	総事業費(円)			事業開始年月日	事業完了年月日	効果検証	
				臨時交付金	国・県補助金	その他・一般財源				
46	学校臨時休業対策費補助金	令和2年3月2日～春休み前日までの学校臨時休校に伴う給食休止に係る食材納入業者へのキャンセル料について、保護者に負担を求めないよう公費で負担した。	・牛乳納入業者へのキャンセル料 164千円 ・パン納入業者へのキャンセル料 50千円	213,855	53,855	160,000		R2.6.29	R2.7.17	・新型コロナに起因する給食に係る経費増加を公費で補填することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
47	学校保健特別対策事業費補助金	小中学校において感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障をするために、マスク・消毒液・非接触型体温計等の衛生用品を購入した。	・マスク、消毒液、手袋等購入 211千円	211,385	104,000	104,000	3,385	R2.4.30	R3.1.31	・衛生用品の購入により、小中学校における感染防止が図られた。
48	学校保健特別対策事業費補助金	小中学校において感染症対策を徹底しながら児童生徒の学習保障をするため、空調を効率的に行うためのサーキュレーターや衛生用品等を購入した。	・衛生資材等購入(豊丘南小分) 1,037千円 ・衛生資材等購入(豊丘北小分) 1,026千円 ・衛生資材等購入(豊丘中分) 1,015千円	3,077,858	1,500,000	1,500,000	77,858	R2.4.24	R3.3.9	・衛生用品等の購入により、小中学校における感染防止が図られた。
49	新生児応援給付金	国の特別定額給付金(10万円)の基準日はR2.4.27であり、R2.4.28以降に出生した新生児は対象にならないため10万円が給付されない。同じ年度(学年)に出生した新生児の中で不公平が生じるため、R2.4.28からR3.4.1までに生まれ、豊丘村に住居登録した新生児の保護者に対し、特別定額給付金と同額の10万円を給付した。	給付金 ・100千円×39人=3,900千円	3,900,000	3,900,000			R2.10.26	R3.3.12	・令和2年度内に、国特別定額給付金の対象にならない期間に生まれた新生児への給付を村独自に行うことで、同じ学年に生まれた新生児間の公平が図られた。
50	テイクアウト・お食事券発行事業	令和2年12月～令和3年1月にかけて当地域でも新型コロナウイルスの感染者が多数発生したため、年末年始の忘新年会がほとんどキャンセルになるなど売上が激減している村内飲食店の支援のため、村内飲食店での飲食やテイクアウト商品に利用できるクーポン券を発行し、村民1人当たり2,000円分ずつ配付した(クーポン券の利用可能期間 R3.1.30～R3.3.31)。	・事務費 596千円 ・クーポン券郵送料 537千円 ・クーポン券換金 12,467千円	13,600,172	13,600,172			R3.1.26	R3.4.23	・クーポン券の配布により、利用可能期間の2ヵ月という短期間に村内飲食店で12,467千円が利用されたことで、新型コロナにより利用客が減少した飲食店の消費を喚起し、支援することができた。
51	新型コロナウイルス検査費用助成事業	村民の不安を軽減するため、以下の条件を満たす無症状の者が抗原定量検査・PCR検査を受ける場合に、その費用の一部を4,000円を上限に助成した。 ・村内の医療・介護・障害福祉サービス事業所に勤務する者、介護・障害福祉サービス事業所を利用している村内居住者、基礎疾患のある村内居住者、管外から帰省する学生(成人式出席者は学生以外も含む)	・検査費用助成 4,000円×27人=108千円	108,000	108,000			R2.12.18	R3.3.12	・医療・介護従事者、基礎疾患のある方、管外から帰省する学生で無症状の方への検査費用を助成することで、無症状感染に不安を持っている方の検査に要する経済的負担の軽減が図られた。
計				348,129,205	300,892,000	5,763,000	41,474,205			